

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	花卉園芸総論						授業形態		講義	
科目コード	710014	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	長江 嗣朗								ICT活 用	
授業概要	花卉とは観賞を目的とした草本茎および木本茎植物のことである。すなわち、花卉は食べることを目的とした植物ではない。しかしながら、それにもかかわらず花卉と人類との関わりは非常に長く、深い。 本講義では、ヒトと花の関わりを説き、ヒトはどのように花卉を利用してきたかを理解する。 また、花卉の生理を理解し、適切な栽培ができるようになるとともに、植物が開花するメカニズムを理解し、人為的な開花コントロールを身に付けることを目指す。									
関連する科目	1年前期「環境園芸実験実習Ⅰ」、1年後期「環境園芸実験実習Ⅱ」、2年前期「園芸生産環境実験実習Ⅰ」、2年後期「花卉園芸各論」、「園芸生産環境実験実習Ⅱ」									
授業の進め方 と方法	板書、パワーポイントを主として用いる。また、随時プリントを配布（PDFによるオンライン配信を含む）し、理解度を高める。さらに、必要に応じて実物を持参してさらに深く理解できるように努める。									
授業計画 【第1回】	花卉とは何か？ 園芸学における花卉とはどのようなものか。また、花卉はヒトにとって、どのような役割を果たすのかを学修する。									
授業計画 【第2回】	ヒトと花卉の関わりについて 世界におけるヒトと花卉の関わってきた歴史について説明し、その背景を学修する。									
授業計画 【第3回】	日本における花卉の歴史1（～江戸時代） 日本において歴史上、どのように花卉が発展してきたのかを学修する（江戸時代まで）。									
授業計画 【第4回】	日本における花卉の歴史2（明治時代～現代） 日本において花卉が発展してきた歴史を江戸時代から現代までを学修する。									
授業計画 【第5回】	花卉の系統分類と学名 花卉の系統分類について、また花卉の学名について学修する。									
授業計画 【第6回】	花卉の園芸分類とその利用について 花卉にはヒトが栽培・利用するにあたり合理的に分類されている。その分類方法である園芸分類について学修する。									
授業計画 【第7回】	サクラの種類と観賞の歴史 日本人にとって重要な花卉の1つであるサクラについて、その種類の紹介および観賞されてきた歴史について学修する。									
授業計画 【第8回】	サクラの開花生理と開花コントロール 日本ではサクラは毎年早春に開花予報が出される。なぜ、サクラは開花予報ができるのか？サクラの開花メカニズムを紹介し、さらに開花コントロールの手法を学修する。									
授業計画 【第9回】	花卉の花芽分化 植物の花芽が具体的にどのように分化、発達および成熟するのかを学修する。									
授業計画 【第10回】	花卉分化の人為的利用 植物の花芽が具体的にどのような条件で花芽分化するのかを理解した上で、人為的に開花をコントロールする方法を学修する。									

授業計画 【第11回】	開花生理 1（光周性） 花芽分化を誘導する光周性について、そのメカニズムを学修する。
授業計画 【第12回】	開花生理 2（低温遭遇） 花芽分化を誘導する定温について、そのメカニズムを学修する。
授業計画 【第13回】	花卉の事例 1（シクラメン） 花卉の代表的な鉢物であるシクラメンを取り上げ、その生理および栽培方法を学修する。
授業計画 【第14回】	花卉の事例 2（ラン科植物） ラン科植物はその生理・生態が非常に特徴的である。 ラン科植物の生理および生態について、またそれらを理解した上でその栽培方法を学修する。
授業計画 【第15回】	まとめ これまでの 14 回分の学習内容について確認するとともに、その応用について学修する。
授業の到達目標	花卉が人類と深い関わりがあることを十分に理解し、なぜヒトに花卉が必要なのかを説明できるようになる。さらに、花卉の開花メカニズムを知ることにより、環境条件をコントロールして開花を人為的に支配できる能力を身に付ける。【専門分野の知識・理解の獲得】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	当日の授業に関連する分野について、下記の参考書を読んである程度理解をしておく。（1 時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業中に登場した花卉について、まず図鑑で確認する。また、その生理・生態を調べて、さらに知識を深めるように努める。（1 時間程度）
課題に対する フィードバック	各試験、レポートは評価後、その後の授業で解説を実施する。
評価方法・基準	期末に行う筆記試験によって評価する（80 点）。また、授業中に実施する小テストのについても評価に加える（20 点）。
テキスト	なし 必要に応じて適宜プリントを配布する（オンライン上での PDF での配布も含む）。
参考書	「花卉園芸総論」、「花卉の開花調節」、「花卉園芸学」、「花卉園芸」、「観賞園芸学」
備考	特になし